

要 約

エチルフェニルアミンのヒメダカによる96時間急性毒性試験をヒメダカ(*Oryzias latipes*)を用いて実施した。

試験は、1試験区10尾を用い、5濃度区[100、50.0、25.0、12.5及び6.25 mg/L(公比2.0)]及び対照区、水温24±1℃、暴露48時間後に試験液の全量を交換する半止水式で行った。

その結果、試験液中の被験物質濃度は、暴露開始時では設定値に対して95.9～97.4%、終了時では92.9～96.3%であり、ほぼ設定濃度に保たれていた。したがって、以下の試験結果は設定濃度に基づいて算出した。

エチルフェニルアミンの96時間LC50(半数致死濃度)は80.4 mg/Lであった。

96時間における100%死亡最低濃度は、本試験の濃度範囲からは得られなかった。0%死亡最高濃度は50.0 mg/Lであった。また、本試験でのNOEC(最大無影響濃度)は25.0 mg/Lであった。